

Kobe Fashion Meeting VOL.0

開催結果報告（速報）

実施概要

- 日時：2025 年 2 月 27 日(木) 13:00～17:30
- 場所：神戸ファッション美術館 5 階 オルビスホール
- 主催：公益財団法人神戸ファッション協会
- 共催：神戸市・神戸商工会議所
- 後援：兵庫県・神戸観光局・神戸新聞社・織研新聞社・サンテレビジョン・ラジオ関西
Kiss FM KOBE・大丸神戸店・神戸阪急・株式会社こうべ未来都市機構
株式会社神戸サンセンタープラザ・神戸地下街株式会社
- 協力：神戸ファッション専門学校・神戸文化服装学院・上田安子服飾専門学校
神戸芸術工科大学神戸松蔭女子学院大学・実践大學(台湾)・株式会社 J O C
株式会社 MICALLE・株式会社アオイ・株式会社イズム
株式会社クロシェホールディングス・株式会社ジャヴァコーポレーション
株式会社バリュープランニング・株式会社紅屋・株式会社シシエス
株式会社ワールド・株式会社フィールズインターナショナル
株式会社アルカスインターナショナル・株式会社ワールドアンバー
株式会社ワールドプロダクションパートナーズ・神戸タータン協議会・熾り株式会社
桑村繊維株式会社・島田製織株式会社・内外織物株式会社・東播染工株式会社
公益財団法人北播磨地場産業開発機構・株式会社カゲヤマ
一般社団法人東京ファッションデザイナー協議会（CFD Tokyo）

実施結果

- 来場者数
252人（うち学生135人）
- 衣装提供企業（合同ファッションショー）
10社14ブランド
- 参加校
全6校
- 当日取材受付メディア
神戸新聞、織研新聞



プログラム詳細①

専門学校・大学紹介

学校紹介の一環として卒業制作で作製された作品を中心に各校がファッションショーを実施。専門学校のゲスト校として、大阪の上田安子服飾専門学校を、大学のゲスト校として台湾にある実践大学を招待した。

ゲスト校の選定は神戸の各校にとり、参考となる取り組みをされていることを意識した。

上田安子服飾専門学校では、自治体や企業との連携を積極的に行い、コラボ企画も多い。また、上田学園コレクションは全国の専門学校の中でも最大の規模を誇るファッションショーとなっている。

実践大学は台湾台北市に 1958 年に建てられた私立大学で創始者は台湾元副総統の謝東閔（シャトウビン）。地元台湾のメーカーから寄付を受けた生地を使い、オリジナルブランド商品を学生が作り、一般販売するという取り組みをされている。



ファッション企業としての“サステナブルセミナー”

ワールドグループにおけるサステナブルな取り組み事例を紹介し、ファッション業界における持続可能性の重要性をご講演後、サステナブル素材「CIRCRIK」商品によるファッションショーを実施。



プログラム詳細②

トークショー

テーマを「ファッションの力で神戸を元気に！ー神戸の未来を語ろうー」に設定し、神戸の街とともに神戸のファッション産業界がもう一度元気を取り戻し、神戸が持つ独自のファッション文化を次の世代に引き継いでいくために、我々が今やるべきことは何なのか。

若い世代と意見を交わしながら、世代を超えてその方向性と具体的な施策を台本なしでトーク。

【ファシリテーター】

●久保 雅裕（くぼ まさひろ）

ファッションジャーナリスト/一般社団法人東京ファッションデザイナー協議会（CFD TOKYO）代表理事・議長。織研新聞社に 22 年在籍し、アッシュ編集室長/パリ支局長などを歴任。

【パネリスト】

●小島 裕介（こじま ゆうすけ）

株式会社 JOC 代表取締役

●増田 満（ますだ みちる）

株式会社 MICALLE セールsteam取締役ゼネラルマネージャー

●岩谷 珠里（いわたに しゅり）

株式会社バリュープランニング パタンナー

2020 年 3 月神戸ファッション専門学校卒業

●南谷 奏良（みなみだに そら）

神戸ファッション専門学校 ファッションビジネス学科 1 年生



【トークショー概要】

<私と神戸>

- ・昔ながらのお店、セレクトショップから古着、ブランド品の高級街が幅広くあり、情報に溢れている街
- ・東洋のものもあれば西洋のものもあり、これをミックスさせて、日本流としてこうやって着ていくんだ。こういう風な生活をしていくんだよっていうのが示されている街
- ・海と山。この一体感の中にファッション、音楽、アート、グルメ、温泉まである。神戸空港も国際化され、水族館も新しくなった。一方で老舗のジャズクラブもまだ現在残っている。刺激を受ける材料がたくさん凝縮されたそんな街

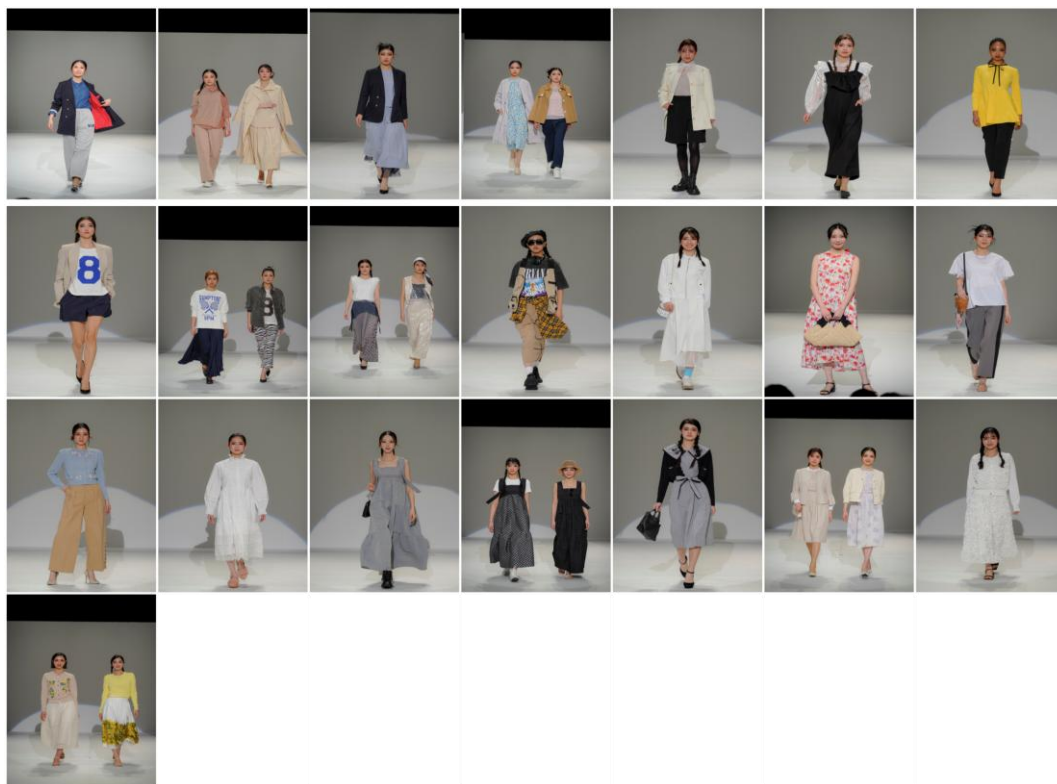
プログラム詳細③

<これからの神戸のために>

- ・発信が重要だと思う。いくらいいものがあったとしても、人に伝わらなければ意味がない。神戸空港の国際化で人のトラフィックが変わる。拠点を持たないノマドワーカーと呼ばれるティックトッカーやライバーといったインフルエンサーのようなファッション産業に携わる人たちが神戸に来て、神戸のファッションや街の文化を発信したいと思うような街づくりをすれば、若年層にとって良いになるのではないか。それには発信したくなる場所や商品を用意しなければならない。
- ・神戸のアパレルは話題性が足りないと思う。いまの神戸らしさを生かしつつ、新しい文化を生んでいかなければならない。自分が興味を持ったことを追求して、仲間ができて、それに興味を持ってくれる人がまた現れてというふうに参加する人数が増えれば、いつの間にか文化は作られていくものだと思う。神戸のブランドだけで固まるのではなく、全国から呼び寄せて、交流していくことができれば参加する人口が増え、それが結果的に PR になる。
- ・神戸エレガンスをそのままではなく、リニューアルし、再構築することが必要。今の時代に何が求められているのかを考える必要がある。こうしたい、ああしたいという表現が神戸ファッションでできればいいと思う。例えば、サスティナブルやジェンダーレスのような新しい文化を神戸から生み出せたら。

Kobe-Style Exhibition

神戸のファッション企業 10 社による Kobe-Style Exhibition としてファッションショーを実施。



プログラム詳細④

イベント参加者全員で写真撮影



交流会

企業の人事担当者、クリエイター、学校関係者、学生ら約 150 人が参加。



イベント後に寄せられた声

- ・あの時間に関わる人達に触れることで、私自身、改めて「この街の新たな躍進に少しでも貢献したい」という思いが喚起されました。ノマドワーカーが行き交い、発信され続ける街、人と情報と経済が行き交う街そんなハブ都市神戸を理想とし、一翼を担える事業者でありたいと考えています。
- ・ファッションで一つになることを実感でき、様々な方との出会いも出来ました。実り多いイベントで終わったことに、参加させていただいた一員として嬉しく存じます。
- ・アパレルのリクルート担当の方から、具体的な仕事の内容やインターンシップについて、お聞きできればさらに貴重な経験ができるのではないかと思います。また、神戸市内のファッション系の大学や専門学校が集まっての合同のファッションショーを開催などは、学生にとっても大きな刺激になるのではないかと思います。